

[研究名]

悪性胆道狭窄に対して留置した金属ステントの脱落に関する検討

[研究責任者]

香川県立中央病院 消化器内科 診療科長 稲葉 知己

[研究の対象・方法]

2013年1月～2024年12月までに、膵・胆道癌による胆道狭窄のために胆道金属ステントを入れて抗癌剤治療を受けた患者さんについて、ステントが抜けてしまったかどうか、疾患の種類、抗がん剤が1種類か複数種類か、抗がん剤の効きがどうであったか、胆管の左右別れ又とステントの上の端の距離、ステントの種類を調査します。

治療成績等を検討することは、今後の治療向上に寄与します。

なお、患者さんの個人情報が増えることはありませんが、研究そのもののデータとして使用を拒否される場合は、下記までご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒760-8557 高松市朝日町1-2-1

香川県立中央病院

電話 087-811-3333（代表）